

研究ノート

国士館諸学校にかんする統計数値の整理 (一)

―旧学制下における国士館中学校について―

山崎 真之



はじめに

筆者は現在、国士館百年史編纂委員会専門委員会委員の一員として、国士館の歴史にかかわる史料の収集および整理等の業務にかかわっている。本稿はそうした作業過程中でえた本年度のささやかな研究成果の一端を報告する、いわば「研究ノート」に位置づく小論である。

周知のように、それまでに蓄積されていた国士館史にかかわる研究の成果は、創立八〇周年を機に刊行された『国士館80年の歩み』（学校法人国士館、平成九年、以下、『80年史』）および創立九〇周年に刊行された『国士館九十年』（学校法人国士館、平成一九年）等に集約されたといつてよい。とりわけ『80年史』の特徴は、それまで学校種別あるいは大学の学部別等に編纂された研究

が多いなかであって、法人の活動等をも含めた戦前・戦後の国士館の全体像を描き出した点に求められる。くわえてその意義は丹念に調査・収集されたいわゆる「公文書」に基づきながら、戦前における国士館の教育制度を実証的に論じた点にあるう。なお、『80年史』はその執筆を担当された湯川次義氏がそれまでに行った研究成果がベースとなっている。筆者の専門委員としての業務は、以上の諸研究等を基盤としながら、他方でその空白部を補完すべく現在の作業を行っている次第である。

その「空白」の一つが、本稿で試みる戦前国士館諸学校にかんする統計数値の整理である。従来の諸研究においても、生徒数・学生数・教員数等に関連する数値は部分的にふれられている。しかし、そうした断片的な数値の紹介のみでは、その数の示す歴史的意味を正確に理解することは難しく、また関連ある数値の系統的な整理は、

戦前国士館諸学校の趨勢を鳥瞰的な視点から通覧することを読者に可能とする。そこで本稿では、明治三十七年より昭和十三年までの間、毎年定期的に刊行された文部省普通学務局『全国公立私立中学校二関スル諸調査』⁽³⁾から国士館中学校にかんする事項を抽出し、内容別に整理した統計数値を一覧として提示することを、まずは主眼とする。ついで、紙幅の許す範囲において若干の補説をくわえることとした。⁽⁴⁾

一 旧学制下における国士館中学校にかんする統計数値の一覧表

国士館における中等教育の嚆矢は、大正一二年四月に開設された「中等部」に求められる。これは昼間五年制で「四十名入学ヲ許可シ文部省規定ニ準ジ中等教育ヲ授」⁽⁵⁾けた、いわば私塾であった。そして開設から二年をへた大正一四年三月三〇日、国士館では中等部を母胎とした法令（「中学校令」）に基づく中学校の設立申請を東京府経由で行い、翌月八日、岡田良平文相の認可をえて、同月一〇日、国士館中学校の設置が正式に告示されている（文部省告示第二二四号）⁽⁷⁾。その後、同校は占領下にあつては昭和十二年三月に校名を「至徳中学校」と

名称変更し、翌年四月、至徳中学校は新学制に基づく新制中学校となった。⁽⁸⁾

以下、本節では国士館中学校にかんする統計数値を内容別に整理して一覧として提示する（巻末）。なお、各表ともに史料上の制約から、その対象期間は同校開設の大正一四年から昭和十三年にいたる間となっている。また各表中には整合性の取れない箇所等（各数とその合計数等）も散見されたが、数値はあきらかな誤りと判断されるもの以外はそのまま原本どおりとした。これら不明な点については現在調査・整理中であり、稿をあらためて論じることとした。

二 補説―定員数・生徒数・学級数ならびに第一学年における志願者数・入学者数について

（一）定員数・生徒数・学級数について

国士館中学校開校当時（大正一四年四月）の中学校令施行規則（以下、施行規則）では、中学校一校あたりの定員数については原則「八百人以下」とし、「特別ノ事情アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ増スコトヲ得」（同規則第二六条）ることとしていた。また、その範囲は同規則が廃止されるまで同様であった⁽⁹⁾。他方、学級の

編制方法等については「一学級ハ五十人以下」とし、くわえて大正一四年時点では「第二学年以上ニ於ケル各学年ノ学級数ハ第一学年ノ学級数ニ超過スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス」(同規則第二二条)としていた。なお、後段の学級数の規定については昭和六年一月に行われた同規則改正時に削除されている。

さて、まずは第一表より定員数についてみれば、国士館中学校における生徒定員数は一貫して七五〇名であり、またここから施行規則の原則にしたがえば、学級数については全学年の合計で最大一五学級、すなわち一学年では三学級、生徒数一五〇名までの範囲で収容することが可能であったといえる。しかし、国士館中学校の当該期間における学級数の平均は約九学級程度にとどまり、最大時でも一四学級(昭和二年)の編制であった。また、生徒数についてみても同表から定員数に対する在籍生徒数の占める割合を算出すれば、その平均は東京府全体では約八六%(全国は約八三%)であるのに対して、国士館中学校の場合は約五三%程度であったことがわかる。したがって同表からみれば、国士館中学校における学校運営はこの間、生徒募集等にかんして厳しい状況にあったことが推察される^{①)}。

また、大正一五年および昭和一三年の学級編制については留意を要する。すなわち、さきに示した法令上の基準では、中学校の一学級における生徒数の範囲は五〇名以下が原則であった。しかし、大正一五年の第三学年では生徒数一〇二名に対して二学級編制(一学級の平均は五一名)、第四学年では生徒数一八〇名に対して三学級編制(一学級の平均は六〇名)となっており、昭和一三年についても第一学年の生徒数が一五九名であったのに対してその学級編制は三学級編制(一学級の平均は五三名)となっている。さらに昭和六年の施行規則改正以前においては第二学年以上における学級数は第一学年学級数の範囲以下で編制することが原則であった。しかし、国士館中学校における大正一五年の学級編制は、第一学年が二学級であるのに対して第四学年では三学級となっており、その基準を超過している。すなわち、この両年における国士館中学校の学級編制は、施行規則の定める原則に抵触していた可能性が指摘されよう。以下、この間の事情について、国立公文書館所蔵の史料に基づきながら、若干の補足をくわえてみたい。

まず、大正一五年の経緯については、「国士館中学校学級数制限超過ノ件」^{②)}と題する史料によってその事情を窺い知ることができる。これは大正一五年九月に国士館

から提出された「学級編制変更願」とともに綴られており、その内容は左のとおりであった。

学級編制変更願

当校御許可生徒定員数ハ各学年百五十名（三学級）合計定員七百五十名（十五学級）ニ御座候処各学年共定員ニ充タサル為メ従来各学年共一学級ニ候此度補欠入学試験施行ノ結果生徒数増員致候為メ左表朱書ノ通り第三学年以下ヲ各二学級ニ第四学年ハ三学級ト学級編成致度最モ同学年ヲ特ニ三学級ト致候義ハ此度私立城北学園第四年生ノ大部分ヲ其ノ校ノ依頼ニヨリ収容方申越候ヲ以テ当校規定ノ編入試験ヲ施行夫等ノ内学力及体格ノ両検査ニ合格シタルモノヲ入学許可致候様ノ次第茲ニ第四年生生徒ハ殊ニ増加致候就テハ従来ノ一学級ヲ三学級編成ニ致方教授上好結果ト存ジラレ候事由ニ依ルモノニ御座候間御了承被下差表編成ノ義御認可被成下度此段奉願上候也

この国士館の願い出に対して昭和二年三月九日、左の通牒が発せられた。

国士館中学校学級数制限超過ノ件
指 令 案

国 士 館

大正十五年九月申請国士館中学校第二学年以上学級数制限超過ノ件認可ス

（略）

客年一月六日寅学第一五九八三号御進達標記ノ件別紙ノ通指令相成タル処本省ノ認可ヲ受ケスシテ第四学年ノ学級数ヲシテ第一学年ノ学級数ニ超過セシメタルハ

甚タ穩当ナラサル次第ナルモ特ニ今回ニ限り詮議扣求タル儀ニ付御示達ノ上將來充分御注意相成度

追テ城北学園第四年生ノ同校編入二関シ其ノ試験問題成績並体格検査ノ結果詳細報告セシメタシ度

右の史料によれば、大正一五年度における学級数の超過は、「私立城北学園第四年生」の編入を受け入れた結果にともなうものであったことがわかる。また、この場合においてはさきに示した施行規則第二条の「但書」にしたがった手続きが求められていた。しかし、国士館中学校がこの手続きをへずに学級編制を行ったことは当局

からすれば「穩当ナラサル」ことではあったが、例外的に「今回ニ限り」認められたようである。

つぎに昭和一三年の事情についてであるが、この経緯等を直接的に示す史料等は未見である。しかし、国士館中学校はその翌年二月一日に「定員増加申請書」を文部当局に提出し、その定員数を従来の七五〇名から一〇〇〇名に変更（一学年四学級、生徒数二〇〇名）することを願ひ出ている。その際、添付資料として提出された史料二点が左に示す「始末書」（学校長尾高武治名義）である。⁽¹³⁾ 前段のものは手書きによるもので後段のものは活字化されたものであるが、これによって昭和一三年の経緯もおおむね推察されるので、つぎに示そう。

始末書

昭和十四年度新学年生徒募集ニ際シテハ第一学年志願者四百余名有之候ニ付定員七五〇名ナルモ教室及校具ニ余裕アルニ鑑ミ由二百六十六名ヲ入学許可致候処 右ハ予メ手続ヲ了スヘキモノナル旨御注意ヲ受ケ恐縮千万ニ奉存候今後ハ総テ所定ノ順序ニ依リ処理致スヘク候ニ付前記入学許可ニ付イテハ特ニ御諒承ヲ得度此段御願申上候（以下、略）

始末書（特ニ本年定員以上収容シタル理由）

昭和十四年三月現在本校生徒数ハ四五〇名ナル然ル処本校定員ハ七五〇名ナルヲ以テ総数定員ニ達スルマデ第一学年生ヲ募集スルモ差支ヘナキモノト思考シタル結果第一学年応募者数四一〇名中二六六名ヲ入学許可シタリ然レドモ右ハ全ク小職ノ誤解ニ基クモノニ候ヘバ何分御寛大ノ処置相成度此段始末書及提出候也（以下、略）

すなわち、第一表に示した翌年の昭和一四年度においては、第一学年在籍生徒数が二六六名に達したことが示されている。ここに当局からの指導（「御注意」）があり、右の始末書が提出されたとみられる。また、その理由については尾高学校長が「全ク小職ノ誤解ニ基クモノ」としていることから推察すれば、前年における第一学年の生徒数超過も施行規則への理解不足によるものと推察される。

(二) 第一学年における入学志望者数・入学者数

大正一四年から昭和一三年の間における中学校の入学資格については、まず中学校令第十条によって大枠は、
(一) 当該学校予科ヲ修了シタル者 (二) 尋常小学校ヲ

卒業シタル者、(三) 文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ学力アリト認メラレタル者、の三種とされた。また、このうち (三) に該当する者についての詳細は施行規則で定められている。すなわち、大正一四年の開校時点では (一) 他ノ中学校又ハ高等学校ノ予科ヲ修了シタル者、(二) 「国語、算術、日本歴史、地理、理科ニ就キ尋常小学校卒業ノ程度ニ依ル試験ヲ合格シタル者」としたうえで、「前項ノ試験ヲ受クルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ノ者」としていた。くわえて、その但し書きでは、(三) 「尋常小学校第五学年ノ課程ヲ修了シ学業優秀且身体ノ發育十分ニシテ中学校ノ課程ヲ修ムルニ足ルコトヲ当該学校長ニ於テ証明シタル者ハ此ノ限ニ在ラス」とし、尋常小学校第五学年修了者の入学を認めることによつて、成績優秀者への修業年限の短縮を図っている(同規則第四十二条)。

また、同条にみられる「試験」についてはその後、昭和二年一月に行われた同規則改正時に「検定」へと変更されることとなった。この改正は第二表に示した数値の変化等を理解するうえでも重要な変更であるため、煩をいとわず、以下にその改正理由を示した文部省訓令を摘記しておく⁽¹⁴⁾。

(前略) 現行制度ニ於テハ中学校第一学年入学志願者ノ数入学セシムヘキ人員ヲ超過スル場合ニハ試験ニ依リテ入学者ヲ選抜スヘキコトヲ規定シ(中略) 多年ノ間入学選抜試験ヲ実施シ来リタレトモ之ニ伴フ弊害少カラス(中略) 小学校在学中ヨリ只管之カ準備ニ没頭シ知ラス識ラスノ間ニ其ノ心身ノ発達ニ悪影響ヲ及ホスハ国民ノ将来ニ対シ洵ニ寒心ニ勝ヘサルナリ加之コレカ為ニ国民教育精神ニ背戾シ小学校教育ノ本旨ヲ没却スルニ至リテハ最モ深く憂フヘキ所ナリ入学試験ニ伴フ弊害前述ノ如シトセハ其ノ制度ニ対シ改正ヲ加フルハ刻下ノ急務ナリ(中略) 今回ノ改正ハ中等学校ノ入学者ヲ選抜スルニ従来ノ如試験ハ之ヲ行ハサルコトヲ以テ本体トシ(中略) 選抜ニ当リテハ主トシテ出身小学校ニ於ケル成績等ニ拠リ更ニ人物考査並身体検査ヲ用ヒテ入学者ヲ決定スヘキモノトセリ(後略)

すなわち、昭和二年以降、中学校における入学選抜方法については「検定」(あるいは「考査」)を中心とすることとなり、この方針はその後の昭和六年における施行規則の全部改正時においても継承されている。なお、第三表として示した第二学年以上への入学にかんする手続き

においても、この方針はともに共通するものであった。

さて、まずは第二表より国士館中学校への入学志願者合計数の推移をみれば、開校当初は一五名であった志願者数は翌一五年には一一八名に増加し、昭和四年・同八年には一二七名および一二六名となっている。その後、昭和九年以降しばらく減少傾向にあった志願者数であったが、昭和一三年には急増して二二一名となり、ここにおいては一始めて第一学年の定員数一五〇名を越えている。しかし、以上を総括的にみれば、その数はおおむね定員数に満たず、さきにもふれたように生徒募集にかんする実状は数値からみれば低迷していたといえる。

他方、試みに志願者数に対する入学者数の比率を算出すれば、入学試験が実施されていた大正一四年・一五年の両年についての平均は、東京府全体では約三六%（全国は約五一%）であるのに対して国士館中学校のそれは約五三%とかなり高い。この数値の隔たりは、「試験」から「検定」へと選抜方法が変更された昭和二年以降においてはより著しく、東京府全体では約四三%（全国は約六〇%）であるのに対して国士館中学校では約七一%となっている。したがって、この数値は国士館中学校における一つの特徴であることはあきらかであるが、その理由については判然とし⁽¹⁵⁾ない。すなわち、この「隔たり」

が今はあきらかにしえない志願者数に対する合格者数の多寡によるものとも考えられるが、他方、つぎに示す史料には留意したい。

国士館中学校では大正一五年一月に「国士館中学校受験料徴収ノ件」と題した学則改正を申請しており、昭和二年一五日にその認可を受けている。このとき、学則を改正する理由を左のとおりとしていた。⁽¹⁶⁾

学則第三十七条（追加） 入学志願者ハ受験料金貳

円ヲ納入スベシ

学則改正理由書

本校ハ従来入学志願者ニ対シ受験料徴収セザル関係上野次的志願者多数交リ逐年志願者数増加シ之レニ対スル諸経費モ不尠要セラル、ヲ以テ此後改正規定ノ受験料ヲ徴収スルトキハ一面ニ於テ之レ等ノ真摯ナラサル志望者ヲ防ギ真実本校ヲ希望スルモノヲ集メ得ベク旁々諸経費ノ一端ニ充テ以テ益々内容・設備ヲ完全ナラシメンガ為メ現規定ヲ改正セントスル所以ナリ

すわなち、右の史料によれば、国士館中学校ではそれまで無料としていた受験料を昭和二年以降では徴集するこ

とし、その理由は「真摯ナラサル志望者ヲ防ギ真実本校ヲ希望スルモノヲ集メ得ベク」実施する旨としている。なお、この申請がなされた大正一五年における志願者数に対する入学者の比率は、国士館中学校にみられる数値としては最低値（約四七％）となっており、以降は上昇している。こうした事実をふまえれば、国士館中学校にみられるさきの「隔たり」は、同校への入学を強く希望する生徒の収容を図った結果とも推察される。

おわりに

以上、本稿では国士館諸学校にかんする統計整理の一つとして、国士館中学校についての試みを提示した。補説についてはまだまだ不十分であるが、すでに与えられた紙幅はつきており、稿を閉じることとする。本稿では収録することができなかった中学校にかんするその他の事項（経費等）や他の諸学校等にかんする統計数値の整理については、別の機にあらためて論じる予定である。

註

（1）高橋（湯川）次義「国立公文書館・東京都公文書館所蔵文書にみる戦前国士館の歴史（一）」―所蔵状況

及び中学校・専門学校の歴史―」（国士館大学文学部『人文学会紀要』第二二号、平成元年）。湯川次義「国立公文書館・東京都公文書館所蔵文書にみる戦前国士館の歴史（二）」（国士館大学教育学会『教育学論叢』第九号、平成三年）。

（2）なお、旧学制下の国士館専門学校における卒業者数および教員免許状取得者数（「武道」等の整理については、拙論「『教員免許台帳』にみる国士館専門学校」（『国士館史研究年報』創刊号、平成二二年）を参照されたい。

（3）本稿に掲載した各表については、すべて『文部省教育統計・調査資料集成』（大空社、一九八八年）に復刻・集録された同報告書に基づき作成した。

（4）本稿中にみられる法令の出所は、すべて文部省教育調査部『中学校関係法令の沿革』（湘南堂、昭和六〇年、復刻版）によった。

（5）「大正一四年私立学校冊ノ二」、東京都公文書館所蔵。

（6）同前。

（7）『官報』第三七八七号、大正一四年四月一〇日、二四八頁。

（8）「自大正一二年四月至一二年三月中学校設置廃止認可 東京都 第一〇冊」、国立公文書館所蔵。

(9) 施行規則は、昭和一八年三月「中学校規程」附則第五七条により廃止された。

(10) 註(11)を参照されたい。

(11) ただし、開設初年度の大正一四年における定員数等については留意を要する。すなわち、同年三月三〇日に提出された申請書類上における定員数は「二五〇名」となっている(「大正一四年私立学校冊ノ二」、東京都公文書館蔵)。しかし、開校数ヶ月後の八月一日付で出された通牒「国士館中学校々舎建築ノ件」(「自大正一二年四月至一二年三月中学校設置廃止認可 東京都 第一〇冊」、前掲書)では中学校の新校舎が認可され、この認可を受けてあらためて同月四日、財団法人国士館から文部当局へ「本財団法人国士館中学校ハ従来定員貳百五十人ノ所此度：・新校舎増築致シ候ニ付キ定員七百五十人ニ増加」することが申請された。また、この申請は同年九月二日に認可され、定員数の変更が行われた(「大正一四年私立学校冊ノ二」、前掲)。すなわち、第一表に掲載した大正一四年の定員数(七五〇名)は同年一〇月の報告によるものであるが、実際の入学者募集はこれ以前の定員数であった「二五〇名」の範囲を念頭に行われたものと考えられる。

(12) 「自大正一二年四月至一二年三月中学校設置廃止認可 東京都 第一〇冊」、前掲書。

(13) 同上。なお、昭和一四年一二月申請の「定員増加」は翌年二月に認可されている。

(14) 昭和二年一二月二日文部省訓令第一九号「中学校令施行規則改正ノ要旨並ニ実施上ノ注意要項」。

(15) なお、同表作成の出所である『全国公立私立中学ニ関スル諸調査』には入学志願者数に対する合格者数の掲載はない。

(16) 「大正十五年私立学校冊ノ十八」(東京都公文書館所蔵)。

3 学年		4 学年		5 学年		合計	
生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
80	2	—	—	—	—	123	4
7,068	144	6,249	124	4,433	93	33,645	690
63,097	1,397	53,679	1,268	38,757	1,014	301,121	6,693
102	2	180	3	—	—	373	9
7,651	157	6,845	140	5,101	114	35,705	743
66,235	1,472	59,037	1,386	46,314	1,206	321,338	7,155
76	3	150	3	104	2	484	14
7,862	160	7,549	154	5,625	119	37,764	781
67,700	1,504	62,658	1,464	51,278	1,315	335,692	7,471
88	2	110	2	99	2	473	10
8,062	163	7,737	153	6,237	133	39,102	806
69,831	1,559	63,598	1,509	54,570	1,398	345,086	7,735
100	2	108	2	90	2	471	10
8,275	166	7,908	157	6,522	140	39,433	820
71,540	1,600	66,363	1,552	57,118	1,452	353,420	7,930
78	2	105	2	92	2	431	10
8,091	174	7,971	159	6,689	144	38,497	827
72,686	1,652	67,427	1,584	59,630	1,493	350,691	8,006
84	2	81	2	92	2	407	10
7,798	167	8,124	167	6,773	149	37,385	805
70,697	1,636	68,290	1,624	60,712	15,114	340,403	7,872
65	2	79	2	67	2	361	10
7,386	159	7,698	162	1,878	156	36,597	789
66,592	1,554	65,773	1,596	61,888	1,539	332,658	7,695
81	2	68	2	69	2	407	8
6,993	156	7,302	156	6,590	149	36,426	786
63,575	1,485	62,898	1,535	60,468	1,516	330,351	7,521
66	2	74	2	63	2	367	10
7,263	157	6,986	153	6,327	147	37,234	795
65,706	1,485	60,679	1,492	57,499	1,444	334,814	7,477
118	2	89	2	70	2	382	9
7,868	165	7,295	157	5,941	139	38,152	804
69,182	1,508	62,672	1,493	55,006	1,443	342,591	7,548
81	2	130	3	79	2	386	9
8,341	172	77	165	6,401	146	40,742	843
72,527	1,542	66,116	1,523	57,626	1,460	355,210	7,689
78	2	99	2	109	3	384	9
8,803	175	8,541	171	7,070	156	43,524	878
74,854	1,566	69,444	1,553	60,523	1,493	368,555	7,848
74	2	96	2	82	2	478	11
9,294	181	8,891	171	7,646	156	47,739	912
76,553	1,599	71,740	1,578	63,664	1,523	384,356	8,026

国士舘諸学校にかんする統計数値の整理 (一)

第1表 定員数・生徒数・学級数

調査年月	対象(校長名)	校数	生徒定員	1学年		2学年	
				生徒数	学級数	生徒数	学級数
大正14年10月	国士舘中 (長瀬鳳輔)	—	750	15	1	28	1
	東京府	45	38,580	8,215	168	7,680	161
	全国	500	365,935	76,058	1,533	69,630	1,481
大正15年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	58	2	33	2
	東京府	46	38,758	8,346	172	7,762	160
	全国	516	377,988	78,432	1,578	71,320	1,513
昭和2年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	85	3	69	3
	東京府	49	40,670	8,699	178	8,029	170
	全国	528	390,530	79,976	1,617	74,080	1,571
昭和3年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	95	2	81	2
	東京府	51	48,200	8,719	185	8,347	172
	全国	542	407,795	81,801	1,570	75,376	1,609
昭和4年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	90	2	83	2
	東京府	54	44,874	8,404	179	8,344	178
	全国	553	417,489	80,482	1,669	77,917	1,657
昭和5年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	69	2	87	2
	東京府	54	45,500	7,721	176	8,025	174
	全国	555	419,675	75,123	1,622	75,825	1,655
昭和6年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	85	2	65	2
	東京府	55	45,200	7,223	160	7,467	162
	全国	556	416,865	69,851	1,511	70,853	1,583
昭和7年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	73	2	77	2
	東京府	55	46,340	7,605	159	7,030	153
	全国	558	416,755	71,453	1,489	66,952	1,517
昭和8年10月	国士舘中 (柴田徳次郎)	—	750	108	2	81	2
	東京府	55	45,180	8,125	168	7,416	157
	全国	553	412,695	74,490	1,506	68,920	1,479
昭和9年10月	国士舘中 (副島義一)	—	750	57	2	107	2
	東京府	55	45,000	8,686	174	7,972	164
	全国	554	413,260	78,236	1,543	72,994	1,513
昭和10年10月	国士舘中 (副島義一)	—	750	43	1	63	2
	東京府	56	44,350	8,727	174	8,321	169
	全国	555	414,945	79,884	1,564	75,847	1,539
昭和11年10月	国士舘中 (副島義一)	—	750	40	1	56	1
	東京府	57	45,800	9,124	184	8,799	176
	全国	557	418,165	80,900	1,594	78,041	1,570
昭和12年10月	国士舘中 (尾高武次)	—	750	46	1	52	1
	東京府	58	47,600	9,990	194	9,120	182
	全国	561	424,965	84,499	1,640	79,235	1,596
昭和13年10月	国士舘中 (尾高武次)	—	750	159	3	67	2
	東京府	60	51,350	11,830	212	10,078	192
	全国	563	433,715	89,437	1,689	82,962	1,637

校第1学年 者	高等小学校卒業者		其他ノ者		合計	
入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
—	—	—	—	—	15	15
643	903	409	263	116	23,703	8,455
16,994	1,625	7,489	1,113	579	150,311	74,398
11	12	10	—	—	118	56
649	796	369	289	135	23,456	8,475
15,665	14,076	6,703	1,009	556	146,706	76,449
10	11	11	—	—	106	85
655	746	368	266	133	25,515	8,943
14,884	11,926	58,862	1,075	538	146,013	77,627
12	22	15	5	5	119	95
621	709	335	344	185	24,186	9,031
14,084	9,691	4,927	926	521	137,550	80,983
6	8	7	4	4	127	98
503	553	266	246	138	21,596	8,761
10,117	7,527	4,519	665	466	122,579	79,163
4	4	3	—	—	89	80
291	326	158	239	133	19,876	8,071
7,984	5,628	3,680	575	416	108,582	74,414
7	8	6	1	1	108	86
282	250	133	191	90	18,423	7,540
6,358	4,401	2,926	566	394	100,914	69,609
7	3	2	—	—	96	73
220	210	112	161	90	15,356	7,903
5,369	3,468	2,340	508	389	102,365	71,236
7	5	5	4	4	126	112
314	246	130	195	93	21,909	8,270
6,112	3,309	2,154	554	384	116,687	74,359
3	2	1	—	—	77	56
245	214	114	301	138	24,211	8,906
7,571	4,117	2,573	602	367	128,620	78,214
3	8	5	3	2	64	54
265	282	146	283	153	26,717	9,180
8,164	4,475	2,604	745	472	137,391	79,842
1	2	2	2	2	74	48
243	207	101	279	145	28,191	9,280
8,855	4,471	2,336	736	495	144,299	80,351
5	5	4	9	7	72	53
287	252	143	391	175	26,441	10,043
9,507	4,928	2,551	777	452	149,684	83,570
10	7	7	5	4	231	171
319	252	110	526	201	33,573	11,937
9,577	5,574	2,361	1,199	674	179,011	88,556

第2表 第1学年の学歴別入学志望者数および入学者数

調査年月	対象	尋常小学校第5学年 修了者		尋常小学校卒業者		高等小学 修了
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者
大正 14 年 10 月	国士館中	—	—	15	15	—
	東京府	309	80	20,591	7,207	1,637
	全国	1,148	406	97,263	48,930	34,536
大正 15 年 10 月	国士館中	—	—	95	55	11
	東京府	166	42	20,622	7,280	1,583
	全国	729	318	100,332	53,207	30,560
昭和 2 年 10 月	国士館中	4	4	79	60	12
	東京府	105	20	22,716	7,767	1,682
	全国	471	193	104,078	56,150	28,463
昭和 3 年 10 月	国士館中	—	—	80	63	12
	東京府	72	20	21,538	7,871	1,523
	全国	313	175	100,833	61,276	25,787
昭和 4 年 10 月	国士館中	—	—	107	81	8
	東京府	85	21	19,586	7,833	1,126
	全国	507	295	97,023	63,766	16,857
昭和 5 年 10 月	国士館中	1	1	80	72	4
	東京府	62	12	18,555	7,477	694
	全国	641	394	89,587	61,940	12,151
昭和 6 年 10 月	国士館中	—	—	91	72	8
	東京府	101	32	17,216	7,003	665
	全国	855	579	85,257	59,352	9,835
昭和 7 年 10 月	国士館中	2	—	84	64	7
	東京府	126	42	14,303	7,439	556
	全国	854	572	89,119	62,566	8,416
昭和 8 年 10 月	国士館中	1	1	106	95	10
	東京府	72	12	20,740	7,721	656
	全国	550	323	102,141	65,386	10,133
昭和 9 年 10 月	国士館中	—	—	72	52	3
	東京府	72	23	23,026	8,386	598
	全国	45	233	110,211	67,470	13,245
昭和 10 年 10 月	国士館中	—	—	49	44	4
	東京府	46	24	25,481	8,592	625
	全国	333	192	117,327	68,410	14,511
昭和 11 年 10 月	国士館中	—	—	67	43	3
	東京府	39	15	27,082	8,776	584
	全国	250	136	122,271	68,529	16,571
昭和 12 年 10 月	国士館中	—	—	52	37	6
	東京府	29	11	25,126	9,427	643
	全国	216	106	125,842	70,954	17,921
昭和 13 年 10 月	国士館中	—	—	206	150	13
	東京府	22	6	32,008	11,301	765
	全国	154	68	150,709	75,876	21,375

4 学年		5 学年		合計	
入学志願者	入学者	入学志願者	入学者	入学志願者	入学者
—	—	—	—	27	17
2,539	683	81	71	6,348	2,231
5,144	2,181	406	348	14,024	7,197
82	50	—	—	187	107
2,401	672	63	59	5,247	1,949
4,972	2,173	389	346	12,750	6,945
113	113	—	—	209	209
2,638	874	108	97	6,071	2,613
5,293	2,524	582	529	13,675	8,048
135	66	—	—	216	112
2,030	736	79	66	4,489	2,076
4,376	2,284	419	371	11,379	7,120
70	36	—	—	145	89
1,647	647	74	73	3,950	1,484
3,771	2,132	385	363	10,569	8,079
5	21	5	5	44	44
1,126	505	52	50	3,006	1,667
3,231	2,143	420	400	9,669	7,099
14	5	—	—	23	9
1,288	838	88	85	3,102	2,091
3,331	2,482	559	523	10,031	7,813
11	4	—	—	29	13
1,257	808	120	109	2,913	1,936
3,372	2,507	673	609	9,872	7,685
11	7	—	—	28	17
1,191	872	223	230	3,050	2,265
3,000	2,291	703	689	9,173	7,378
9	7	—	—	29	21
1,153	796	157	122	3,079	2,145
2,708	1,988	581	486	9,234	6,967
46	42	1	1	89	81
1,264	869	11	107	3,166	2,200
2,819	2,062	440	395	9,298	7,019
52	30	8	8	115	88
1,371	879	103	98	3,469	2,190
2,968	2,029	442	403	9,757	6,956
67	32	9	9	157	96
1,614	851	126	116	3,988	2,301
3,178	1,991	475	440	10,233	7,112
104	35	2	2	230	110
1,503	679	107	89	4,238	2,175
3,115	1,807	433	390	10,783	7,065

第3表 第2学年以上における入学志願者数・入学者数

調査年月	対象	2 学年		3 学年	
		入学志願者	入学者	入学志願者	入学者
大正 14 年 10 月	国士館中	20	17	7	—
	東京府	1,347	622	2,381	855
	全国	3,697	2,275	4,777	2,393
大正 15 年 10 月	国士館中	27	12	78	45
	東京府	1,016	493	1,767	725
	全国	3,148	2,080	4,241	2,346
昭和 2 年 10 月	国士館中	20	20	76	76
	東京府	1,284	704	2,041	938
	全国	3,497	2,432	4,303	2,563
昭和 3 年 10 月	国士館中	23	13	58	33
	東京府	908	556	1,472	718
	全国	3,044	2,206	3,540	2,259
昭和 4 年 10 月	国士館中	22	13	53	40
	東京府	979	62	1,250	702
	全国	3,252	2,428	3,161	3,156
昭和 5 年 10 月	国士館中	9	4	25	14
	東京府	778	497	1,050	615
	全国	2,903	2,275	3,115	2,281
昭和 6 年 10 月	国士館中	2	—	7	4
	東京府	722	516	1,004	652
	全国	2,950	2,384	3,190	2,424
昭和 7 年 10 月	国士館中	6	3	12	6
	東京府	622	426	914	593
	全国	2,841	2,297	2,986	2,272
昭和 8 年 10 月	国士館中	10	7	7	3
	東京府	703	507	933	656
	全国	2,714	2,221	2,756	2,177
昭和 9 年 10 月	国士館中	12	9	8	5
	東京府	803	577	966	650
	全国	3,153	2,435	2,792	2,058
昭和 10 年 10 月	国士館中	15	13	27	25
	東京府	843	540	1,048	684
	全国	3,120	2,358	2,919	2,204
昭和 11 年 10 月	国士館中	23	20	32	30
	東京府	862	552	1,133	661
	全国	3,215	2,381	3,132	2,143
昭和 12 年 10 月	国士館中	30	23	51	32
	東京府	968	619	1,280	715
	全国	3,242	2,387	3,338	2,294
昭和 13 年 10 月	国士館中	45	35	79	38
	東京府	1,132	655	1,496	752
	全国	3,546	2,525	3,689	2,343

官公署ニ 奉職シタル者	教員ト ナリタル者	実業ニ 就キタル者	死亡シタル者	其ノ他ノ者	計
4	—	7	—	49	100
68	30	325	9	2,435	5,380
1,302	1,656	8,750	120	23,733	49,561
—	3	10	—	21	85
76	15	369	14	252	5,671
1,438	1,417	10,225	100	23,882	52,882
2	—	2	—	55	80
87	40	310	27	2,871	6,071
1,306	928	10,082	135	27,056	55,219
—	—	12	1	31	88
72	17	451	7	2,935	6,258
1,294	506	12,520	120	27,902	57,858
—	14	17	—	45	92
69	33	581	29	2,873	6,376
1,419	518	13,493	153	28,064	59,285
—	—	8	2	22	65
83	16	406	17	2,953	6,462
1,743	894	12,826	122	28,389	59,977
3	—	—	—	31	65
129	5	379	27	2,855	6,364
1,938	928	12,843	133	27,594	58,855
6	—	9	—	32	62
133	6	360	9	2,850	6,073
2,138	976	11,714	169	26,620	56,117
—	—	11	—	33	70
110	11	328	11	2,780	5,813
2,481	1,040	11,096	101	25,062	53,882
2	—	15	—	29	77
122	4	439	14	2,911	6,264
3,316	999	11,191	121	24,811	56,322
6	1	8	—	48	107
197	15	682	19	2,942	6,929
4,214	1,487	10,669	130	23,584	58,135

第4表 卒業生の進路

調査年月	対象	高等学校及 大学予科入学者	官公立専門学校 及之と同程度 学校入学	私立専門学校及 之と同程度学校 入学者	陸海軍諸学校 入学者
昭和3年10月	国士館中	14	—	26	—
	東京府	1,496	331	659	27
	全国	5,370	4,764	4,589	279
昭和4年10月	国士館中	21	1	24	—
	東京府	1,496	328	843	19
	全国	5,588	4,733	5,206	293
昭和5年10月	国士館中	10	—	11	—
	東京府	1,525	394	738	79
	全国	5,737	4,835	4,755	385
昭和6年10月	国士館中	12	2	28	2
	東京府	1,520	344	842	70
	全国	5,237	4,619	5,214	446
昭和7年10月	国士館中	15	1	—	—
	東京府	1,505	369	863	54
	全国	5,416	4,628	5,286	303
昭和8年10月	国士館中	15	5	13	—
	東京府	1,505	483	950	49
	全国	5,269	4,659	5,691	384
昭和9年10月	国士館中	8	1	11	—
	東京府	1,519	421	958	71
	全国	4,856	4,473	5,690	400
昭和10年10月	国士館中	3	1	11	—
	東京府	1,217	372	1,073	53
	全国	4,359	4,334	5,340	468
昭和11年10月	国士館中	1	2	23	—
	東京府	1,234	383	913	43
	全国	4,128	4,424	5,126	444
昭和12年10月	国士館中	10	—	21	—
	東京府	1,191	405	1,066	112
	全国	4,096	5,139	5,634	1,015
昭和13年10月	国士館中	5	5	33	1
	東京府	1,462	451	1,074	87
	全国	4,577	6,353	6,068	1,053

退学事由別員数							
高等学校大学 予科入学 ニ依ル者	陸海軍諸 学校入学 ニ依ル者	官公立諸 学校入学 ニ依ル者	私立諸学 校入学 ニ依ル者	実業ニ就 キタル者	懲戒処分 ニ依ル者	死亡又ハ疾 病ニ依ル者	其ノ他ノ者
—	—	—	—	—	19	—	—
363	15	264	323	172	363	618	2,185
1,580	124	2,474	1,366	3,993	734	3,807	13,234
—	—	—	5	—	12	7	17
310	24	247	309	113	372	569	2,071
1,717	116	2,511	1,287	4,255	796	3,901	13,077
14	—	—	33	—	15	27	73
356	5	333	375	139	378	655	2,232
1,984	144	2,529	1,270	4,505	795	4,029	13,235
9	—	4	2	—	—	5	61
439	11	274	344	200	430	716	2,311
2,039	131	2,303	1,339	4,962	777	4,379	13,122
9	—	—	6	—	—	5	61
503	51	280	403	267	175	685	2,286
2,209	184	2,497	1,239	5,191	523	4,149	13,756
8	—	—	—	—	—	—	61
431	23	35	50	97	26	75	371
2,047	160	2,603	1,439	5,359	543	4,087	14,085
1	—	—	—	3	2	3	25
408	30	190	244	203	131	616	2,498
1,928	160	2,430	1,044	5,520	438	4,205	13,817
—	—	—	—	—	—	4	30
473	61	147	338	58	126	448	2,284
1,848	263	2,265	1,375	4,288	607	3,468	12,890
2	—	—	—	—	—	1	27
448	46	200	311	95	148	535	2,129
1,547	340	2,005	1,124	3,849	381	3,368	11,009
2	—	5	15	26	4	4	4
347	60	190	327	113	245	452	2,023
1,325	271	1,984	1,102	3,713	451	3,277	10,536
1	—	8	18	27	14	8	12
384	51	209	415	133	154	536	2,203
1,283	383	2,163	1,321	3,942	318	3,462	10,309
4	1	1	—	13	11	7	22
368	104	173	327	146	123	519	1,988
1,275	605	1,957	1,150	3,466	306	3,462	10,250
4	2	5	12	—	19	9	32
336	304	249	348	157	106	583	2,075
1,213	2,464	1,981	1,146	3,040	295	3,627	9,556

第 5 表 退学者数・退学事由

調査年月	対象	半途退学者数	退学者学年別数				
			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年
大正 15 年 10 月	国士館中	19	1	6	12	—	—
	東京府	4,303	1,003	903	888	793	716
	全国	27,312	5,027	6,537	6,821	5,456	3,471
昭和 2 年 10 月	国士館中	41	3	6	26	6	—
	東京府	4,015	821	787	912	821	674
	全国	27,660	4,864	6,501	6,727	5,802	3,766
昭和 3 年 10 月	国士館中	162	5	7	35	46	69
	東京府	4,473	796	916	1,037	945	781
	全国	28,491	4,636	6,727	6,891	6,146	4,091
昭和 4 年 10 月	国士館中	81	11	12	23	9	26
	東京府	4,725	987	967	962	1,025	784
	全国	29,052	5,073	6,733	7,045	6,385	3,816
昭和 5 年 10 月	国士館中	81	11	12	23	9	26
	東京府	4,650	930	975	969	958	818
	全国	29,746	5,399	7,175	7,261	6,348	3,563
昭和 6 年 10 月	国士館中	69	12	7	11	16	23
	東京府	4,595	775	938	1,065	1,014	803
	全国	30,323	5,251	7,156	7,749	6,413	3,754
昭和 7 年 10 月	国士館中	34	8	10	8	7	1
	東京府	4,320	675	765	1,077	997	406
	全国	29,542	4,769	6,635	7,551	6,720	3,867
昭和 8 年 10 月	国士館中	38	6	11	6	9	4
	東京府	3,935	579	707	863	977	809
	全国	27,004	4,189	5,896	6,930	6,280	3,709
昭和 9 年 10 月	国士館中	30	3	6	11	6	4
	東京府	3,913	647	751	803	1,013	699
	全国	23,242	3,888	5,398	5,863	4,850	3,243
昭和 10 年 10 月	国士館中	60	6	14	16	15	9
	東京府	3,757	675	759	820	908	595
	全国	22,659	3,868	5,358	5,513	4,984	2,936
昭和 11 年 10 月	国士館中	88	10	15	27	34	2
	東京府	4,085	735	848	866	979	657
	全国	22,981	3,788	5,662	5,819	5,020	2,692
昭和 12 年 10 月	国士館中	59	3	12	16	15	13
	東京府	3,748	606	758	805	883	696
	全国	22,471	3,635	5,474	5,710	4,824	2,828
昭和 13 年 10 月	国士館中	83	13	19	19	25	7
	東京府	4,158	722	895	884	921	736
	全国	23,322	3,569	5,200	5,310	5,398	3,845

有資格者		無資格者		合計			武術教員
専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	計	
6	2	9	—	15	2	17	5
793	188	257	89	1,050	277	1,326	43
8,469	600	2,816	548	11,287	1,146	12,433	1,114
6	2	10	1	16	3	19	2
861	206	273	74	1,134	280	1,414	36
9,385	556	2,403	326	11,788	882	12,670	583
11	6	7	—	18	6	24	1
939	22	297	59	1,236	280	1,516	37
10,128	529	2,315	214	12,443	743	13,186	698
12	3	7	1	1	4	23	2
961	225	268	47	1,229	272	1,501	58
10,746	547	2,036	216	12,782	763	13,545	760
12	2	6	—	18	2	20	1
981	274	303	172	1,284	446	1,730	32
11,171	590	2,048	416	13,219	1,006	14,225	735
11	4	6	1	17	5	22	2
1,072	225	287	69	1,359	294	1,653	64
11,611	493	1,784	278	13,395	771	14,166	759
14	5	4	—	18	5	23	2
1,070	261	254	78	1,324	339	1,663	83
11,639	575	1,522	499	13,161	1,074	14,235	868
16	4	4	—	20	4	24	—
1,078	216	214	54	1,292	270	1,563	31
11,554	580	1,447	418	13,001	998	13,999	788
19	2	4	—	23	2	25	—
1,079	244	196	73	1,275	317	1,592	42
11,591	582	1,338	396	12,929	977	13,906	742
19	2	2	—	21	3	24	—
1,110	254	197	62	1,307	316	1,623	42
11,875	664	1,241	464	13,116	1,128	14,244	774
18	2	3	—	21	2	23	—
1,153	273	209	63	1,362	336	1,698	54
12,034	714	1,210	420	13,144	1,145	14,289	751
17	2	4	—	21	2	23	—
1,191	280	200	80	1,391	360	1,751	52
12,398	729	1,158	428	13,556	1,157	14,713	668
16	3	1	1	17	4	21	2
1,231	320	231	119	1,462	439	1,901	108
12,778	777	1,283	569	14,061	1,345	15,407	637
19	4	1	1	20	5	25	—
1,350	306	209	80	1,559	386	1,945	68
13,301	842	1,587	663	14,888	1,505	16,393	661

第6表 教員数（資格別）

年月	対象
大正 14 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
大正 15 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 2 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 3 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 4 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 5 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 6 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 7 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 8 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 9 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 10 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 11 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 12 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国
昭和 13 年 10 月	国士館中
	東京府
	全国